横浜市市民文化会館関内ホール
平成 29 年度業務計画及び収支予算

㈱ｔｖｋコミュニケーションズ・㈱テレビ神奈川・㈱横浜メディアアド・㈱清光社・(公財)横浜市芸術文化振興財団共同事業体

１.施設の概要

施　設　名	横浜市市民文化会館関内ホール
所　在　地	横浜市中区住吉町 4－42－1
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上４階地下２階建
敷地・延床面積	延床面積 8967,51 ㎡
開　館　日	1986 年（昭和 61 年）9 月

２.指定管理者

法　人　名	㈱ｔｖｋコミュニケーションズ・㈱テレビ神奈川・㈱横浜メディアアド・㈱清光社・(公財)横浜市芸術文化振興財団共同事業体 代表㈱ｔｖｋコミュニケーションズ
所　在　地	横浜市西区西平沼町 6-1tvk ecom park（ヨコハマくらし館内）
代　表　者	関　佳史
設立年月日	昭和 49 年 9 月 10 日
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日まで

3.指定管理に係る業務方針

(1)基本的な方針

【業務取組みの基本的な考え方】

横浜市の文化芸術政策等への貢献を念頭に、関内ホールの特性や馬車道沿いという立地を活かした「市民の文化芸術活動と発表の場の提供」「質の高い鑑賞機会の提供」「次世代育成への積極的な取組み」「地域と連携した賑わい創出」など、今期の提案書に示したビジョン（中期的イメージ）を実現するため、これまでの運営経験とノウハウを活かし、次の 7 つの方針で関内ホールの管理運営に取り組みます。

１．専門性を発揮して、市民に身近な文化芸術活動の場を提供
２．専門企業・団体とのネットワークを活かし、特徴ある鑑賞機会を提供
３．子ども達が楽しめる鑑賞機会と積極的な若手アーティストの支援で次世代を育成
４．街中の便利なホールとして、集会・講演会利用に対応
５．魅力あるイベントと幅広い広報活動で、馬車道をはじめ地域の賑わい向上に貢献
６．経験とノウハウに基づく、安心安全の徹底
７．行政代行者としてのコンプライアンス（法令遵守）と公平・公正な利用の確保

(2) 平成29年度の業務の方針及び達成目標

【全体業務について】

第3期指定管理期間の2年目となる平成29年度は、今期の提案書に示した「私たちが実現したい関内ホールの将来像」に向け、引き続き子どもから大人まで幅広い層を対象としたさまざまな事業を中心に、地元馬車道商店街との連携による地域の賑わい創出に積極的に取り組んでいきます。特に29年度は“馬車道”誕生から150周年を迎える節目の年であることから、馬車道商店街との協働による事業の制作や、JV構成企業である「テレビ神奈川」及び「tvkコミュニケーションズ」と協力して「馬車道150周年特別記念番組」の制作に取り組むなど、“馬車道”の一員としてさまざまな角度から“150周年記念イヤー”を盛り上げていきます。

また、29年度は、11月から始まる天井脱落対策工事等のため、第3四半期以降の事業実施については市内の公会堂のほか、現在“関内ホール”と3館連携体制で運営を行っている“吉野町市民プラザ”並びに“岩間市民プラザ”を利用して継続していく予定です。

その他、新たな貸し出しサービスとして準備を進めている、小ホール夜間区分の個人練習向け「マイ練習プラン」の導入や、大・小ホールに設置を終えた「リアル動画配信システム」の貸出しを本格的に始動するなど、市民の文化的活動の拠点施設として、より一層の充実を図るとともに、更なるリピーター増に努めていきます。

【事業について】

29年度は、シリーズ事業としてホールを代表する事業に成長した、合唱コンサートシリーズをはじめ、毎年恒例となったゴスペルワークショップなど、幅広い年齢層を対象とした参加型事業に加え、幼児向けクラシックアンサンブルや、公募型ストリートライブ、1日オープンデーなど、次世代を担う子ども達や新進アーティスト等の育成を目的とした事業を中心にラインナップするほか、29年度の特別企画として、更なる事業スケール拡張のため、例年100人規模が参加する人気シリーズ“SOULMATICSのゴスペルワークショップ”について特別番組を制作し「テレビ神奈川」で放送を予定しています。

また、幅広い層に支持される質の高い鑑賞事業についても、登録110団体に及ぶ“サポーターズ倶楽部”のネットワークを活用し、音楽やダンス・演劇など、ジャンルごとにバランスよく実施していきます。

馬車道150周年にあたる今期は、地域との連携事業にも引き続き注力していきます。馬車道商店街との協働による4日間に渡る“馬車道まつりアートフェスタ2017”の開催や、馬車道商店街の伝統的な行事である“5/9あいすくりーむの日”に因んだ“あいすくりーむ発祥記念コンサート”の実施、更にはJV構成企業である「テレビ神奈川」及び「tvkコミュニケーションズ」との協力のもと「馬車道150周年特別記念番組」の制作を予定しています。加えて、関内ホールの面する“馬車道通り”や“入船通り”で例年実施する祭事などに積極的に協力し、引き続き地域の賑わいづくりに努めていきます。

29年度は11月から始まる天井脱落対策工事等のため、第3四半期後半からの実施事業については外部の会場を利用してアウトリーチ事業を実施する予定です。玄関前広場で通年実施しているショートパフォーマンスライブについては、馬車道交差点の“馬車道広場”へ場所を移して隔週で実施するほか、若手噺家公演については吉野町市民プラザと岩間市民プラザでの開催を予定しています。また、“陽だまりコンサート”については、関内ホールの取組みを多くの方々

に知っていただき、リニューアル後にホールへ足を運んでいただくことを目的に、市内各所の公会堂へ開催場所を移して実施する予定です。

【運営について】

引き続き、各種アンケートの回答と責任者会議による“業務の PDCA サイクル”を継続し、お客様の目線に立った改善に日常的に取り組むことで利用者満足度の向上に努めていきます。1 期目指定管理期間から実施している “ステージコンシェルジュサービス”や各種割引制度についても細かな改善を加えながら継続するとともに、引き続きテレビメディアやツィッター、ホームページ、フェイスブック等の IT ツールを活用した情報発信に積極的に取り組むことで来場者数と利用率の更なる向上を図ります。

その他、今年度は、小ホールの空きコマを低価格で提供する新たな割引制度「マイ練習プラン」の導入や、無料で利用できるリアル動画配信システムの設置などに取組みます。

11 月からの天井脱落対策工事等に伴う長期休館については、利用者向けの告知チラシやホームページを活用し、早期から広く周知を図っていきます。

【施設維持管理について】

関内ホールは竣工から 30 年が経過し施設自体が老朽化しつつある状況ですが、今後も市民の方々に安心してご利用いただくために建物・設備の予防保全を第一に考え、できる限り長寿命化を図るとともに、経験則に基づく専門性の高い施設管理業務を実施することで常に安全で快適な環境を提供するよう努めていきます。

今年度 11 月から実施される天井脱落対策工事等に備え、既存備品を保管するための移設作業を計画通り行うとともに、工事期間中の保管備品については定期的に点検を実施します。

また、付属 6 店舗については工事期間中も営業を継続するため、引き続き機械警備の管理と定期清掃を実施していきます。

１．文化事業

（１）市民への音楽、ダンス、演劇その他の文化芸術の鑑賞機会の提供

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①専門企業・団体とのネットワークを活かし、市民に喜ばれる鑑賞事業を展開	ミドルエイジ向けに人気のあるアーティストや落語家などの公演・事業を、専門企業とのネットワークを活かして定期的に行います。 音楽、ダンス、演劇のそれぞれにおいて、多彩なジャンルを市民に紹介することで、それぞれの感性に応じた文化芸術へのきっかけづくりとなるような、質の高い鑑賞機会を提供します。 □ミドルエイジ向けコンサート系事業　9 公演を実施 □若者向けコンサート系事業　9 公演を実施 □ダンス公演系事業　3 公演を実施 □演劇・ミュージカル・バラエティ系事業　5 公演を実施 □落語・漫談・狂言等、伝統芸能系事業　8 公演を実施 ※事業内容は別紙のとおり
②横浜芸術アクション事業など、公的な文化芸術事業にも積極的に協力	横浜市をはじめ中区などが主催する市民参画型のシンボリックな文化芸術イベントに、舞台設営をはじめ、応募者の選定やテレビ、スポット放映、動画のアーカイブ化など、自分達の専門性を活かし、多面的に協力します。 □公的文化事業への協力　2 公演を実施 ※事業内容は別紙のとおり
③地域のブランド力を高めるシンボリックな事業を、地域と協働で開催	地域の団体と築いてきたネットワークを活かし、地域とともに成長するホールとして、地域のブランド力を高めるシンボリックな事業に取り組みます。 □地域連携事業　2 事業 7 公演を実施 ※事業内容は別紙のとおり

（２）次世代育成の取組

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①子どもたちの成長度合いに合わせ、文化芸術と触れる多彩な機会を提供	子どもの成長度合いに合わせた文化芸術との出会いを提供するために、参加・鑑賞の仕方やテーマが異なる、多彩な機会を提供します。 □次世代育成事業　8 事業 9 公演を実施 ※事業内容は別紙のとおり

②新進アーティストを支援する、発表の機会の提供	発表の機会を継続的に提供することで、多くの次世代が文化芸術に取り組み、活躍の輪が相乗効果を生み出すような次世代育成を行います。 □新進アーティスト支援事業　6事業6公演及びストリートライブ25公演を実施 ※事業内容は別紙のとおり
③横浜市芸術文化教育プラットフォーム『学校プログラム』への協力	市内全域の小中学校と連携を深め、子ども達が文化芸術と触れ合う機会の提供に貢献します。 □『学校プログラム』として小学校２校にコーディネーターを派遣

（３）創作活動のための機会の提供

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標　　◎⇒主催／☆⇒共催／●⇒協力事業

提案要旨	達成指標
①市民とともに創り上げる、創作ワークショップと発表機会の提供	公募で参加者を募り、専門家を講師に招いて複数回の練習を重ねた上で１つの公演を倉切上げる、市民が主役の創作ワークショップ事業を行います。 □社会人向けワークショップ　2事業を実施 ◎ゴスペルワークショップ&修了公演 実施回数：13回（4ヶ月間） ◎市民ディレクターズ講座 実施回数：2回（2日間） □市民ゴスペルコンサート番組の制作 ◎ゴスペルワークショップ特別テレビ番組１本を制作
② 市民が気軽に参加できるコンサートの開催	市民が楽しく気軽に参加できる機会を、質の高いコンサートやイベントという形で実現しステージと客席が一体となる感動を提供します。 □参加型コンサート事業　3事業5公演を実施 ※事業内容は別紙のとおり

（４）　情報提供及び広報

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①共同事業体の専門性を活かした多彩な広報・プロモーション活動	□ｔｖｋ昼の情報番組で毎月１回「関内ホールインフォメーション」を放映。 □主催事業10本についてスポットCMを制作し、ｔｖｋで放映。 □ｔｖｋの番組連動公演を１事業実施する。

	□月間「催し物案内」を制作し、市内 280 ヶ所（5500 部）に毎月定期的に配布する。 ■事業広報に各種新聞媒体、フリーペーパー、地域情報誌を活用する。
②さまざまな側面からの効果的な情報提供 (1)映像と ICT を活用した独自性のある情報提供 (2)市民と連携した「文化アンバサダー制度」による情報発信 (3)撮影場所の提供による情報発信	□関内ホールでの公演や、発表会などについて、新規 12 本の映像を収録し、デジタルアーカイブとして「関内ホールビデオフォーラム」から配信を行う。 ■ホールの広報にホームページ、Twitter、Facebook などの IT ツールを活用。 ■「市民アンバサダー（大使）」による、主催事業についての意見や感想の配信を、ホームページや Facebook を通じて行う。 ■ドラマやコマーシャル、映画撮影などの利用の際、「協力/関内ホール・横浜市」のテロップを入れることを条件に料金割引を行う『撮影利用割引』を引き続き実施する。

（５）地域の賑わいへの貢献

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標　　◎⇒主催／☆⇒共催／●⇒協力事業

提案要旨	達成指標
①地元・馬車道地域のニーズに応える賑わい創出への取組	■ホールホワイエに「馬車道商店街店舗用チラシラック」を設置し商店街の活性化に協力する。 ■馬車道商店街が実施するイベントのチラシ制作・配架、ウェブサイトでの情報発信に協力する。 ■来場者が見込める主催事業について、開演時間を午後（早い時間帯）に設定し、夕食需要や買い物需要を喚起する。 ■従来とは異なる層の来街者創出のため、若者やファミリーを対象とした事業の充実に引き続き取組む。
②地元事業への積極的な貢献	■馬車道商店街などが実施する定例行事やお祭りなどに、企画・広報専門性などを活かした協力を行う。 ※対象地元事業は別紙のとおり

（６）文化事業実施にあたっての留意事項

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①ソーシャルインクルージョンに配慮した取組	□「陽だまりコンサートシリーズ」と「ゴスペルワークショップ修了公演」で障害者招待枠を設定し、20 名様の招待を行う。 ■SPL“MAXIMUM”シリーズで障害者入場割引を実施する。 ■来場する障害者の方用に駐車場を提供する。

	■来場者へ車椅子の貸し出しを行う。 ■ソーシャルインクルージョンに配慮した事業などへ積極的に協力する。

２．施設運営

（１）市民の文化芸術活動の発表・創作活動のための施設の提供

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

<table>
<tr><th>提案要旨</th><th>達成指標</th></tr>
<tr><td>①公の施設としての、公平で公正な貸出業務の実施</td><td>■市民利用施設予約システムでの抽選。空き施設申込みによる公平で公正な貸出し業務の実施。</td></tr>
<tr><td>②新規利用者の増加と利用率の向上を図る、貸出サービスの創意工夫
(1)リピーターのニーズに応え、利用率の向上を図る貸出サービス・割引優遇制度の実施</td><td>■利用１ヶ月前を切った大・小ホールの空きコマについて、「直前申請割引（遅割り）」を実施する。
■リハーサル室スタンプカード会員サービスを実施する。
■大・小ホール、リハーサル室全室を終日利用する場合、リハーサル室４部屋分の料金を割引する「全館利用割引」を実施する。
■設営やリハーサルに使用した時間帯について割引を適用する「リハーサル区分割引」を実施する。
■サポーターズ倶楽部の登録団体が共催で事業を行う場合、利用料金について 10%～100%割引を適用する「サポーターズ倶楽部共催割引」を実施する。</td></tr>
<tr><td>(2)市民の文化振興を図り、新規利用者を開拓するための貸出サービス・割引優遇制度の実施</td><td>■営利を目的としない個人の練習向けに、利用２週間前を切った小ホールの夜間空きコマを格安で提供する「マイ練習プラン」を実施する。
■大・小ホールに生中継動画配信設備を設置し、利用者へ無料で提供する。
■保育園・幼稚園など未就学児童が主体となる団体の利用に対し、割引を適用する「未就学児童特別割引」を実施する。
■利用１ヶ月前までの練習利用について割引を適用する「市民文化団体割引」を実施する。
■直近の空き日の玄関前掲示と、ホームページ掲載。</td></tr>
<tr><td>③利用率の目標（5か年平均）
大ホール：94.8%
小ホール：93.0%
リハーサル室：55.0%</td><td>□5か年の利用率目標（大ホール 94.8%・小ホール 93%・リハーサル室 55%）から今年度の利用率目標を設定する。
<table><tr><th>施　　設</th><th>利用率目標</th></tr><tr><td>大ホール</td><td>94%</td></tr><tr><td>小ホール</td><td>91.5%</td></tr><tr><td>リハーサル室（4部屋）</td><td>52%</td></tr></table></td></tr>
</table>

④専門性を活かした、公演等への積極的な助言・サポートの実施 (1)ステージコンシェルジュによる、利便性の高いワンストップサービスの提供 (2)舞台技術者による専門的なアドバイスとサポートの実施	■ステージコンシェルジュを引き続き実施する。 ＊生花・弁当・吊看板・写真撮影・ビデオ記録・調律・各種舞台機器レンタルの一括取次ぎ。 ■舞台の専門知識を持ったスタッフによるサービス対応 ＊施設の利用の有無を問わず、公演実施に関する専門的アドバイスの実施。 ＊使用時間外や休館日を利用した専門知識を持つスタッフによる施設見学の実施。 ＊利用初心者向けにタブレットを利用した利用ガイドの導入や、ホール資料・各種申請書等の（インターネット）ダウンロードの実施。 ＊荷物の事前搬入受付や、イベント終了後の発送取次ぎを実施。
(3)利用者ニーズに合わせた広報活動のサポート	■利用者のニーズに合わせた広報サポートの実施 ＊「月間催し物案内」への無料掲載、公式ホームページでの告知サービス実施のほか、テレビコマーシャルの制作と放映について特別価格を設定する。 ■関内ホールでの公演について、チケット委託販売を実施。
(4)専門技術を活かした、音声や映像の記録と録画配信	■権利処理可能な公演について収録を行い、関内ホールビデオフォーラムから動画配信を実施。

（２）集会や講演利用への施設の提供

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①施設の特性を活かし、比較的大規模な集会や講演会のために施設を提供する。	■専門知識を持つスタッフによる公演実施に関するきめ細かなアドバイスをはじめ、公演に必要な物品の手配をワンストップで取り次ぐ「ステージコンシェルジュサービス」を実施し、集会・講演会利用をサポートする。 ■行政が主催する講演会や集会、社会性・公共性の高い集会などに引き続き優先枠を提供する。 ＜実施予定の講演会・集会＞ ・市営住宅抽選会（夏季・冬季） ・学校保健大会 ・ヨコハマ 3R 夢表彰式 ・年末調整説明会 ・療育研究大会 ・スポーツ推進員大会

	・食育シンポジウム ・献体された方々の感謝の集い ・横浜市社会福祉大会　　ほか、
②利用者ニーズに合わせた広報活動のサポート	■利用者のニーズに合わせた広報サポートの実施 ＊「月間催し物案内」への無料掲載、公式ホームページでの告知サービスの実施のほか、テレビコマーシャルの制作と放映について特別価格を設定する。

（３）利用促進及び利用者サービスの向上及びアイデアノウハウの提案

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①利用者満足度の向上につながる、さまざまなニーズ把握	
(1)利用者の率直な意見を聞くアンケートの実施	■来場者アンケート、事業アンケート、利用者アンケート、Web アンケートを継続的に実施することで利用者のニーズとクレームを把握し日常的に運営の改善に努める。
(2)関係団体へのヒアリング、意見交換会の実施	□馬車道商店街とのヒアリングを３ヶ月に１度実施する。 ■文化アンバサダーとの意見交換を随時行う。 ■事業主催者（利用者）へのヒアリングを随時行う。
②PDCA 発想に基づくニーズ・要望への対応	□各種アンケート回答をもとに毎月１回、各セクションの責任者による「責任者会議」と事務所職員による「運営調整会議」を実施し、業務の改善に努める。 ■改善を実施した内容をロビー内の掲示ボードで公開する。
③苦情発生に対する取組	■過去の苦情およびその対応を参考に「苦情対応マニュアル」を作成し全職員が共有する。 ■苦情対応フローに沿って、苦情に対する処理を行う。 ■日常の「ヒヤリ・ハット」事例を日報に記載するとともに「運営調整会議」を通じ全職員が共有する。 ■改善策や再発防止策を「苦情対応マニュアル」に反映し、対応内容について「苦情・要望処理報告書」を市に提出する。
④公演鑑賞に潤いをもたらすカフェコーナー(臨時)の設置	■改修後のカフェコーナー設置に向けて、提供内容、事業者等の検討を行う。(現在の設備では法令基準に適合しないため、改修後に出店予定)
⑤市民向けの映像・動画作成教室の	□自分で映像・動画を制作したい市民向けの映像講座を２回（休館

開催	中含む）実施する。 ◎ディレクターズ講座 会場：メディアビジネスセンタービル 参加者：20 名

（４）運営組織の構築及び組織的な運営

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

<table>
<tr><th>提案要旨</th><th>達成指標</th></tr>
<tr><td>①専門性が高く、かつ効率的な組織体制

②円滑な管理運営のための各種会議の実施</td><td>■事務所に舞台及び舞台技術の相談員として舞台技術者を常時 1 名配置する。
■定例会議の実施や情報の共有（PC サーバー）により各職員が担当職のみならず相互に業務を補完することで効率的な運営を実施する。
■人員配置（計 13 名）
<table>
<tr><td>館長</td><td>1</td></tr>
<tr><td>副館長／管理部長</td><td>1</td></tr>
<tr><td>事業部長</td><td>1</td></tr>
<tr><td>管理担当</td><td>1</td></tr>
<tr><td>経理担当</td><td>1</td></tr>
<tr><td>事業担当</td><td>3</td></tr>
<tr><td>受付担当</td><td>5</td></tr>
</table>
□各種会議
<table>
<tr><th>会議名</th><th>実施頻度</th></tr>
<tr><td>朝礼</td><td>毎日</td></tr>
<tr><td>責任者会議</td><td>月１回</td></tr>
<tr><td>運営調整会議</td><td>月１回</td></tr>
<tr><td>運営委員会</td><td>年４回</td></tr>
<tr><td>関係機関連絡会</td><td>随時</td></tr>
<tr><td>利用調整会議</td><td>月１回</td></tr>
<tr><td>施設管理連絡会</td><td>年１回</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>③必要人材の配置と職能
(1)各企業のノウハウを活かした効果的な人材配置

④主要人材の能力担保
(1)効果的な OJT の実施</td><td>■共同事業体各社から業務ごとに専門性の高い職員を適正に配置する。

■職員各々に応じた OJT について年間を通じて実施する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr>
<td>(2)サービスレベルの統一とホスピタリティあふれる運営につながる研修体制
(3)利用者の大舞台を支える高品質な接遇マナー</td>
<td>□各担当向け基本研修の実施

<table>
<tr><th>研修テーマ</th><th>開催回数</th></tr>
<tr><td>接遇マナー研修</td><td>年 2 回</td></tr>
<tr><td>人権研修</td><td>年 1 回</td></tr>
<tr><td>インスタントシニア研修</td><td>年 1 回</td></tr>
<tr><td>コンプライアンス研修</td><td>年 1 回</td></tr>
<tr><td>個人情報保護法研修</td><td>年 1 回</td></tr>
<tr><td>危機管理研修</td><td>年 1 回</td></tr>
<tr><td>防災訓練</td><td>年 2 回</td></tr>
</table>
</td>
</tr>
</table>

（５）本市の重要施策を踏まえた取組

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①個人情報保護についての取組	■個人情報の保護に関する法令等を遵守し、個人情報を適正に取り扱う。 □職員向けに個人情報保護に関する研修を年 1 回実施する。 ■個人情報の具体的な取扱い方法について記載した「個人情報取扱いマニュアル」を整備。
②情報公開についての取組	■「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」に準じて作成した「関内ホール情報公開規程」に基づき、行政文書開示請求等対して適切に対応する。
③人権尊重についての取組	□人権研修を年 1 回実施し、職員一人ひとりが人権尊重を実践するよう取組む。
④環境への配慮に関する取組	■施設の環境を維持し、快適な環境を保つため、清掃業務を適切に行う。 ■施設から発生する廃棄物の発生抑制に努めるとともに、職員によるゴミ分別励行を行いゴミの資源化を促進する。 ■横浜市が推進する「みどりアップ計画」に則り、周辺地域の緑化に協力する。
⑤市内中小企業優先発注についての取組	■「横浜市中小企業振興基本条例」を踏まえ、修繕等の発注、物品及び役務の調達等にあたって、可能な限り市内中小企業への優先発注に努める。

（６）その他施設運営に関する事項

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①休館日の届け出について	■休館日、開館時間について年度ごとに横浜市へ届出を行う。
②許認可及び届出について	■ホール内の飲食物販売など、許認可の取得や届出を必要とする場合は関係各所に対し適正に申請を行う。
③目的外使用料の申請について	■自動販売機、携帯中継アンテナ等の目的外使用の申請について横浜市へ届出を行う。
④財務状況の確認	■財務状況の確認のため、横浜市の要請に応じ財務諸表などの財務状況について確認できる書類を提出する。

３．施設管理

（１）施設、設備の維持保全及び管理

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

<table>
<tr><th>提案要旨</th><th>達成指標</th></tr>
<tr><td>①PDCA サイクルに基づく、計画的で高品質な施設管理業務の実施</td><td>■施設や設備の特性や、公演実施時の注意事項などを熟知し、「施設管理業務の PDCA」に沿った的確な管理運営を実施。</td></tr>
<tr><td>②仕様基準を上回る、高品質な施設管理のための創意工夫</td><td>■繋閑差に応じ、経験値に基づいた的確な空調コントロールを行う。
■老朽化した排水設備に対し、迅速かつ的確に状態を把握することが可能なファイバースコープ診断を実施。
□ホールの利用状況に応じた臨機応変な清掃対応の実施。
<table>
<tr><th>項目</th><th>市の業務基準</th><th>公演実施時の清掃対応</th></tr>
<tr><td>トイレ清掃</td><td>１回以上／日</td><td>公演前後、公演中・幕間合計４回</td></tr>
<tr><td>カーペット（床面洗浄）</td><td>５回以上／年</td><td>公演後の点検により、随時シミ取りを実施。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>③備品等の適切な管理</td><td>■備品管理簿をデータ化し、備品管理を効率的に行えるよう取組む。
■館内設置のグランドピアノ 4 台について適切な保管環境の維持に加え、定期メンテナンスを実施することで良好な状態を保つ。</td></tr>
</table>

（２）小破修繕への取組

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①予防保全と施設の長寿命化を図るための中期修繕計画の策定	■天井脱落対策工事等の内容を踏まえ、必要な修繕項目時期を精査し「中期修繕計画」として整理体系化を図り、計画的に修繕に取組む。
②保守管理の専門技術を活かした、迅速かつ臨機応変な突発修繕への対応	■長年の管理経験を活かし、故障が発生しやすい箇所への定期点検を実施するなど、故障の未然防止に努める。 □常時２名の設備員を配置することで、突発的な修繕へ迅速に対応する。
③修繕費・小破修繕費の計上	■中期修繕計画で想定される計画修繕費に、過去５年間の修繕実績からみた「突発的修繕費」を加え、さらに備品などで修繕できない物品についての新規購入費用を加えた「全体修繕費」を計上することで、今後の更なる経年劣化に対し適切に対応する。 □小破修繕費 200 万円の計上。

（３）事故防止体制・　緊急時（防犯）の対応・感染症対策等衛生管理

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①事故防止および犯罪防止のための方針と対策	
(1)巡回警備の徹底	□警備員による館内巡回警備の徹底。 １日４回。（休館日は除く）
(2)不審者対策を兼ねた巡回時の工夫	■不審者対策のため、来館者に対しての声掛けや、公演開催前後に入口付近の立哨を実施。
(3)異常を未然に防止する、施段形状に配慮したきめ細かい巡視点検	■異常の早期発見と未然防止のため、施設形状に配慮したきめ細かい巡視点検の実施。
(4)主催者に対する公演開催時の警備・誘導のきめ細かいサポート	■主催者向け、警備・誘導マニュアルの配布と警備用備品の貸出を実施。
(5)犯罪を未然に防止する、パニックコールに応じた迅速な対応	■付属 6 店舗からのパニックコールに常駐警備員が迅速に対応できる体制をとる。
②緊急時（事故・犯罪の発生時）の対応の方針と対策	
(1)緊急対応マニュアルの作成と平常時の訓練	■事故や犯罪に対する緊急対応マニュアルを整備し、定期的に訓練を実施。 ■舞台業務に関する作業方法や、公演中の停電及び舞台機構関連の

	トラブルへの対応マニュアルを整備し、職員に周知徹底を図る。
③新型インフルエンザ等の感染症対策	■感染症防止のため、ホール出入口に手指消毒剤を設置する。 ■吐しゃ物に対する正しい処理方法を職員間で周知徹底するとともに処理剤やマスク、手袋などを常備する。 ■市内で感染症が発生した場合は、休館について横浜市と協議し、休館の場合はその旨の広報に努めるとともに、問い合わせに対応する体制に切り替える。

（４）防災に対する取組み

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①　緊急時の連絡体制・役割分担	■全職員に対し緊急時の連絡体制と役割分担についての周知を徹底するとともに、非常時に備え、緊急連絡先カードを携行する。 ■大規模災害時には帰宅困難者一時滞在施設として適切な機能が果たせるよう、共同事業体各社が応援要員を派遣するなどのバックアップを行う。
②平常時の防災対策	□自衛消防隊を設置し、年１回消火訓練を実施する。 □年２回防災訓練を実施する。 ■主催者へ避難経路図を配布するとともに、ロビー内には災害発生時の諸注意と広域避難場所への経路図を掲示する。
③災害発生時の取組	■地震、火災、台風など、災害の危険が予想される時は来館者の安全確保を最優先とし非難措置や必要な緊急対処を行うほか、横浜市と協議の上、閉館等の措置を適宜実施する。
④障害者の安全管理対策	■災害発生時に障害者を避難させる場合は、誘導担当職員が付き添うとともに、最終的に避難の完了を現場責任者が確認する。

（５）その他施設管理に関する事項

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①来場者に対し、近隣の駐車場を把握して案内するなど、円滑な運営に努める	■付近の駐車場マップを作成し、来場者にご案内する。
②併設する青少年育成センターに	■日常清掃、定期清掃、巡回警備、保守管理を実施する。

係る業務	□毎月１回、催事スケジュールについての情報交換を行う。
③併設する６店舗に関する業務	□情報共有と運営改善のための６店舗連絡会を年２回定期的に開催する。 ■定期的にエアコンの消防設備の点検、店舗前の巡回警備、防犯対応、清掃を実施する。 ■横浜市と公有財産賃貸契約を締結する。各店舗と賃貸借契約を締結する。 ■入居店舗が撤退した場合は市と協議の上、新入居者を選考する。
④施設の管理を行う上で必要な資格者の配置	□電気主任技術者（3 種）を１名選任する。 □建築物環境衛生管理技術者を１名選任する。 □特定産業廃棄物管理責任者を１名選任する。 □甲種防火管理者を１名選任する。
⑤「ESCO」事業に係る業務	■「ESCO」事業実施に協力する。関内ホール独自でもエネルギー削減出来るか検討する。 □年２回実施する報告会議に出席する。

４．収支

（２）指定管理料のみに依存しない収入構造

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①割引優遇制度など独自の利用料金制度の実施	■直前利用割引やリハーサル室スタンプサービスなどの各種利用料割引を継続し、利用者数の向上に努める。 ※各種割引制度の詳細は２．施設運営（１）に記載
②自主事業の充実による事業収入の増加	□今年度は主催 30 事業を実施し、1,385 万円の事業収入を目標とする。
③質の高い事業企画による企業協賛や公的助成金の活用	■主催事業について公的助成金や企業協賛を得られるよう積極的に取組む。

（３）経費削減等効率的運営の努力

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①職員のマルチジョブ化によるサービス向上とコスト削減の実現	■定例会議の実施や情報の共有（PC サーバー）により各職員が担当職のみならず相互に業務を補完することで効率的な運営を実施

	する。
②運営ノウハウ等経営資源の活用による経費削減策	■２期の運営経験から得たノウハウを活用することで、さまざまな経費を削減し、サービスの向上とコスト削減に努める。
③ヨコハマ 3R 夢プランに基づく日常的な 3R 活動と省エネルギーの推進	■施設内で 3R（リユース・リデュース・リサイクル）を推進し、廃棄物の減量および適正処理を行うとともに、必要の無いライトを消灯するなど、全職員が省エネルギー化に努める。
④業務の標準化・見える化による生産性の向上	■業務手順についてワークフローやマニュアルを作成するなど、業務の標準化を進め生産性の向上に努める。
⑤グループウェアを活用した情報共有による業務効率化	■情報共有手段としてグループウェア・共有サーバーを活用し、作業の効率化を図る。
⑥予防保全によるムリのない中長期的な維持管理経費の削減	■チェックリストを用いた巡回点検に重点を置き、些細な不具合の早期発見および小破修繕により、中長期的な経費削減を図る。

５．ＰＤＣＡサイクルの確実な運用

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①日報及び月間業務告書の作成・管理	■各種日報を作成する。 ■月報を作成しモニタリング時に提出する。 ■各日報、月報を適切に管理保管する。
②事業計画書及び事業報告書の作成・管理	■業務計画書（次年度の業務計画、収支予算）を作成し横浜市に提出する。 ■業務報告書（前年度の業務報告及び利用実績、収支決算）を作成し横浜市に提出する。
③業務評価（モニタリング、自己評価、第三者による評価の実施）	■定期的にモニタリング会議を実施し、横浜市へ運営状況の報告を行う。 ■自己評価の実施 ■外部委員による事業視察の実施

６．留意事項

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①保険及び損害賠償の取扱	■施設賠償保険、動産総合保険、レジャー・サービス施設費用保険に加入する。
②関係法令等の順守	■業務を遂行するうえで、定められた関係法令等を遵守する。
③市及び関係機関との連絡調整	□横浜市とのモニタリング会議を原則月１回開催する。 □付属６店舗との連絡会を年２回開催する。 ■馬車道商店街、住吉町内会の連絡会等に出席する。

７．天井脱落対策工事等に伴う休館期間中における業務・事業

□⇒定量的な指標／■⇒定性的な指標

提案要旨	達成指標
①事業・広報活動 (1)公演事業	ショートパフォーマンスライブについては、馬車道交差点の“馬車道広場”へ場所を移して隔週で実施するほか、ショートパフォーマンスライブの人気選抜コンサートと、若手噺家公演を吉野町市民プラザ及び岩間市民プラザで実施します。 また、“陽だまりコンサート”については、関内ホールの取組みを多くの方々に知っていただき、リニューアル後にホールへ足を運んでいただくことを目的に、市内各所の公会堂へ開催場所を移して実施します。 □馬車道商店街と連携した、ＳＰＬを隔週で実施 □若手噺家公演を３公演実施 □公会堂で「陽だまりコンサート」を２公演実施 □ＳＰＬ人気選抜ライブ「SPL アンダーグラウンド」を１公演実施
(2)講座	□自分で映像・動画を制作したい市民向けの映像講座を１回実施する。 ◎ディレクターズ講座 会場：メディアビジネスセンタービル 参加者：20 名
(3)広報	休館期間中においては、アウトリーチの機会を活かし、今まで関内ホールに来たことがない方にも事業をご覧いただけるよう広く広報を行います。 また、関内ホールリピーターの方に工事状況などを紹介するなど

<table>
<tr>
<td></td>
<td>リニューアルオープンへの機運を高めるよう取組を行っていきます。
□刊行物月１回発行
□関内ホールでの公演や、発表会などについて、新規 12 本の映像を収録し、デジタルアーカイブとして「関内ホールビデオフォーラム」から配信を行う（再掲）。</td>
</tr>
<tr>
<td>②管理業務</td>
<td>休館期間中においては、必要な法定点検や運営を継続する店舗との連絡調整業務を適切に実施します。
また、工事が円滑に進捗するよう、会議への出席や馬車道商店街等の地元地域への情報提供など協力を行います。
■適切な法定点検の実施
■営業を継続する店舗の日常的な連絡調整
■工事に係る会議出席等の協力
■馬車道商店街等との定期的な情報共有
■備品及び物品管理簿の整理</td>
</tr>
<tr>
<td>③人員配置</td>
<td>■人員配置（5.5 人）
<table>
<tr><td>館長（非常勤）</td><td>0.5</td></tr>
<tr><td>管理/経理/総務担当</td><td>1</td></tr>
<tr><td>事業担当</td><td>3</td></tr>
<tr><td>受付/広報担当</td><td>1</td></tr>
</table></td>
</tr>
</table>

【別紙】◆実施事業一覧

1. 市民への音楽、ダンス、演劇その他の文化芸術の鑑賞機会の提供

＜鑑賞事業・ミドルエイジ向けコンサート系事業＞

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	入場見込
1	4 月	協力	ポピュラーコンサート①	大ホール	750 名
2	6 月	協力	ポピュラーコンサート②	大ホール	800 名
3	6 月	協力	ポピュラーコンサート③	大ホール	900 名
4	7 月	協力	ボサノヴァコンサート	大ホール	650 名
5	8 月	協力	ポピュラーコンサート④	大ホール	700 名
6	8 月	協力	ポピュラーコンサート⑤	大ホール	800 名
7	9 月	主催	ポピュラーコンサート	大ホール	700 名
8	9 月	協力	テノールコンサート	大ホール	800 名
9	9 月	協力	シャンソンコンサート	大ホール	600 名

＜鑑賞事業・若者向けコンサート系事業＞

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	入場見込
1	4 月	協力	ポピュラーコンサート①	大ホール	700 名
2	4 月	協力	ポピュラーコンサート②	大ホール	700 名
3	4 月	協力	ポピュラーコンサート③	大ホール	1000 名
4	4 月	協力	ポピュラーコンサート④	小ホール	250 名
5	5 月	協力	ピアノコンサート	大ホール	600 名
6	6 月	協力	アイドルコンサート	大ホール	700 名
7	6 月	協力	ゴスペルコンサート	大ホール	800 名
8	10 月	協力	ウクレレコンサート	大ホール	900 名

9	10 月	協力	ポピュラーコンサート⑤	大ホール	600 名

＜鑑賞事業・ダンス系事業＞

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	入場見込
1	8 月	協力	クラシックバレエ公演	大ホール	800 名
2	9 月	協力	モダンバレエ公演	大ホール	750 名
3	10 月	協力	コンテンポラリーダンス公演	小ホール	200 名

＜鑑賞事業・演劇系/ミュージカル系/バラエティ系＞

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	入場見込
1	5 月	協力	トークバラエティ	大ホール	900 名
2	7 月	主催	子供向けパペットショー	大ホール	600 名
3	7 月	主催	にじいろこんちぇると	小ホール	200 名
4	7 月	協力	子供向けミュージカル公演	大ホール	1000 名
5	9 月	協力	トークバラエティ	大ホール	900 名

＜鑑賞事業・落語/漫談/伝統芸能系＞

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	入場見込
1	5 月	主催	関内寄席１	大ホール	600 名
2	7 月	主催	関内寄席２	大ホール	1000 名
3	8 月	主催	関内寄席３	大ホール	700 名
4	9 月	主催	関内寄席４	大ホール	800 名
5	9 月	協力	狂言会	大ホール	800 名
6	10 月	主催	関内寄席５	大ホール	800 名
7	10 月	主催	関内寄席６	大ホール	1000 名

8	11 月	主催	関内寄席 7	大ホール	1000 名

＜公的文化芸術事業への協力＞

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	事業内容	入場見込
1	8 月	共催	中区ダンス フェスティバル	大ホール	一般公募によるダンスフェスティバル。	1,300 名
2	10 月	協力	横濱 JAZZ プロムナード 2016	全館	市内中心部の複数会場で実施するジャズの祭典。	5,000 名

＜地域連携事業＞

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	事業内容	入場見込
1	5/9	主催	あいすくりーむ発祥記念「コンサート」	大ホール	地域の伝統的な行事である“5/9 あいすくりーむの日”に因んだ“クラシックコンサートを実施。	1600 名
	5/9	主催	あいすくりーむ発祥記念「チャリティ寄席」	小ホール	地域の伝統的な行事である“5/9 あいすくりーむの日”に因んだ“チャリティ落語会を実施。	250 名
2	10/31	主催	“馬車道アートフェスタ 2016” 映画上映会	大ホール	馬車道の恒例行事である“馬車道まつり”の開催期間に合わせ 4 日間にわたり大・小ホールでさまざまな招待公演を実施。	800 名
	10/31	主催	“馬車道アートフェスタ 2016” ジャズコンサート	小ホール	“馬車道アートフェスタ 2016”の一環として、トランペットジャズコンサートを実施。	200 名
	11/1	主催	“馬車道アートフェスタ 2016” ブラスコンサート	大ホール	“馬車道アートフェスタ 2016”の一環として、東京藝大ウィンドオーケストラコンサートを実施。	1000 名
	11/1	主催	“馬車道アートフェスタ 2016”映像クラシックコンサート	小ホール	“馬車道アートフェスタ 2016”の一環として、映像クラシックコンサートを実施。	250 名
	11/2	主催	“馬車道アートフェスタ 2016” 管弦楽コンサート	大ホール	“馬車道アートフェスタ 2016”の一環として、神奈川フィルハーモニーのコンサートを実施。	1000 名

	11/3	主催	“馬車道アートフェスタ2016”関内ホール 1 日オープンデー	大ホール	“馬車道アートフェスタ2016”の一環として、8 回目となる関内ホール 1 日オープンデーを開催。	3000 名

＜次世代育成事業＞

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	事業内容	入場見込
1	6 月	主催	よちよちひなたぼっこコンサート＜前期＞	小ホール	赤ちゃんとお母さんを対象としたアンサンブルコンサート。	160 名
2	7 月	主催	にじいろこんちぇると	小ホール	小学生を対象とした、クラシック音楽と演劇のコラボ公演。	200 名
3	7 月	共催	横浜市民 こどもミュージカル	小ホール	一般公募による、こどもミュージカル。	参加者 50 名 入場者 500 名
4	9 月	主催	よちよちひなたぼっこコンサート＜後期＞	小ホール	赤ちゃんとお母さんを対象としたアンサンブルコンサート。	160 名
5	10 月	主催	コンテンポラリーダンス （タップ&ストーリー）	小ホール	タップとコンテンポラリーダンスとお芝居の新たなコラボステージ。	200 名
6	11 月	主催	ピアノの仕組み教室	リハーサル室	プロの調律師によるピアノの仕組み教室。調律体験も合わせて実施。	参加者 80 名
7	11 月	主催	工作系ワークショップ	リハーサル室	手づくり小物の工作ワークショップ。	参加者 50 名
8	11 月	主催	楽器体験 ワークショップ	リハーサル室	楽器体験ワークショップ。	参加者 50 名

9	11 月	主催	こども寄席	小ホール	落語の基礎を楽しく学べる初心者向け落語講座。	250 名

03-3833-8563

＜新進アーティスト支援事業＞

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	事業内容	入場見込
1	4 月	主催	ショートパフォーマンスライブ MAXIMUM　17	小ホール	ショートパフォーマンスライブ出演者の中から選りすぐりの 1 組を選出して行うワンマンライブ。	250 名
2	5 月	協力	バレエコンクール In　横浜	大ホール	若きバレエダンサーの登竜門となるバレエコンクール。	2,000 名
3	7 月	主催	ショートパフォーマンスライブ “UNDERGROUND”7	小ホール	ショートパフォーマンスライブ出演者の中から 4 組を選抜して実施するオムニバスライブ。	300 名
4	8 月	協力	ジュニアバレエ公演	大ホール	世界的バレエダンサーが主宰するジュニアバレエ団の公演	600 名
5	8 月	主催	ショートパフォーマンスライブ MAXIMUM　18	小ホール	ショートパフォーマンスライブ出演者の中から選りすぐりの 1 組を選出して行うワンマンライブ。	250 名
6	5 月 9 月	共催	若手噺家支援公演	小ホール	若手噺家の高座を年 4 回小ホールで実施。11 月以降は吉野町市民プラザ・岩間市民プラザで開催。	各回 150 名
7	通年	主催	馬車道ショートパフォーマンスライブ	玄関前広場	公募によるストリートライブを玄関前で実施。 今年度は 25 回開催予定。	2,500 名

＜社会人向けワークショップ＞

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	事業内容	入場見込
1	5月～8月	主催	SOULMATICS のゴスペルワークショップ 7	小ホール	人気ゴスペルグループが講師を務めるワークショップ。全3ヶ月。	参加者80名
2	10月	主催	ディレクターズ講座	リハーサル室	動画撮影・編集・ネット配信までを学ぶ講座	30名

＜参加型コンサート事業＞

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	事業内容	入場見込
1	5月	主催	馬車道 陽だまりコンサート vol.29	大ホール	クラシック演奏と合唱が一度に楽しめる、客席参加型合唱コンサート。障がい者招待も実施。	500名
2	8月	主催	1000人ゴスペル in 関内ホール～世界で一番大切なあなたへ～	大ホール	ワークショップ参加者と来場者が一体となったゴスペルコンサート	1,000名
3	8月	共催	横浜国際ゴスペルフェスティバル	大ホール	多数の市民クワイアと来日ゴスペルアーティストが共演するコンサート。	700名
4	8月	主催	馬車道 陽だまりコンサート vol.30	大ホール	クラシック演奏と合唱が一度に楽しめる、客席参加型合唱コンサート。障がい者招待も実施。	500名
5	11月	主催	馬車道 陽だまりコンサート vol.31 スペシャル	大ホール	クラシック演奏と合唱が一度に楽しめる、客席参加型合唱コンサート。障がい者招待も実施。	700名

＜地元事業＞

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	事業内容	入場見込
1	4/23	協力	住吉町入船通り祭り	住吉町入船通り周辺	入船通り一帯で開催する地域のお祭り。関内ホール前ではライブイベントを実施。	200 名
2	5/9	主催	あいすくりーむ発祥記念コンサート 《再掲》	大ホール	地域の伝統的な行事である“5/9 あいすくりーむの日”に因んだ“クラシックコンサートを実施。	1600 名
3	5/9	主催	あいすくりーむ発祥記念チャリティ寄席 《再掲》	小ホール	地域の伝統的な行事である“5/9 あいすくりーむの日”に因んだ“チャリティ落語会を実施。	250 名
4	5/27～5/28	協力	Y158 セントラルタウンフェスティバル「馬車道ステージ」	玄関前広場	横浜開港の歴史を伝える 5 つの商店街が合同で行うイベント。馬車道特設ステージを開催。	300 名
5	10/31	協力	ガス灯点灯式典	玄関前広場	馬車道通りから本町通りにかけてガス灯がともったことを記念して「ガス灯点灯レセプション」を実施。	300 名
6	10/31	主催	“馬車道アートフェスタ 2016” 映画上映会 《再掲》	大ホール	馬車道の恒例行事である“馬車道まつり”の開催期間に合わせ、4 日間にわたり大・小ホールでさまざまな招待公演を実施。	800 名
7	10/31	主催	“馬車道アートフェスタ 2016” ジャズコンサート 《再掲》	小ホール	“馬車道アートフェスタ 2016”の一環として、トランペットジャズコンサートを実施。	200 名
8	11/1	主催	“馬車道アートフェスタ 2016” ブラスコンサート 《再掲》	大ホール	“馬車道アートフェスタ 2016”の一環として、東京藝大ウィンドオーケストラコンサートを実施。	1000 名
9	11/1	主催	“馬車道アートフェスタ 2016” クラシックコンサート 《再掲》	小ホール	“馬車道アートフェスタ 2016”の一環として、映像クラシックコンサートを実施。	250 名

10	11/2	主催	“馬車道アートフェスタ2016” 管弦楽コンサート 《再掲》	大ホール	“馬車道アートフェスタ2016”の一環として、神奈川フィルハーモニーのコンサートを実施。	1000 名
11	11/3	主催	“馬車道アートフェスタ2016”関内ホール 1 日オープンデー 《再掲》	大ホール	“馬車道アートフェスタ2016”の一環として、8 回目となる関内ホール 1 日オープンデーを開催。	3000 名

＜工事期間中（12 月～3 月）のアウトリーチ事業＞

No.	実施時期	実施形態	タイトル	会場	事業内容	入場見込
1	1 月	主催	馬車道 陽だまりコンサート vol.32	磯子公会堂（予定）	クラシック演奏と合唱が一度に楽しめる、客席参加型合唱コンサート。障がい者招待も実施。	350 名
2	3 月	主催	馬車道 陽だまりコンサート vol.33	緑公会堂（予定）	クラシック演奏と合唱が一度に楽しめる、客席参加型合唱コンサート。障がい者招待も実施。	350 名
3	11 月～3 月 全 9 回	主催	馬車道ショートパフォーマンスライブ	馬車道広場	公募によるストリートライブ。馬車道広場へ場所を移し、隔週 1 回、全 9 回のライブを開催。	のべ1000 名
4	12 月	共催	若手噺家支援公演	岩間市民プラザ	関内ホールのレギュラー事業である若手噺家の落語会を引き続き実施。	150 名
5	1 月	主催	若手噺家支援公演	吉野町市民プラザ	関内ホールのレギュラー事業である若手噺家の落語会を引き続き実施。	100 名
6	2 月	主催	馬車道 SPL アンダーグラウンド vol.8	岩間市民プラザ	関内ホールのレギュラー事業である「ショートパフォーマンスライブ」の人気選抜ホールライブ。	150 名
7	3 月	主催	若手噺家支援公演	岩間市民プラザ	関内ホールのレギュラー事業である若手噺家の落語会を引き続き実施。	150 名

関内ホール 予定表 平成29年度（2017年度）

月	日	曜	営業状態	舞台関係点検		設備保全関係		清掃関係		開館不可能な理由	開館状況	備考
				大ホール	小ホール	外部委託点検	監視室点検	特殊清掃	定期清掃			
4	10	月	全館休館	舞台機構	舞台機構	エレベータ	冷却塔			エレベータ点検		法定
	24	月	全館休館	ピアノ			大ホール		事務所	事務所清掃		
5	8	月	全館休館			エレベータ	冷却塔			エレベータ点検		法定
	22	月	全館休館		音響	シャッター ボイラ・時計		ガラス清掃	大ホール	シャッター点検		法定
6	5	月	全館休館	舞台照明	舞台照明	エレベータ 自動ドア	冷却塔	貯水槽清掃	小ホール	エレベータ点検 貯水槽清掃		法定
	6	火	一部閉鎖	舞台照明			大ホール				小ホール・リハ	
	19	月	一部閉鎖		ピアノ						大ホール・リハ	
7	10	月	全館休館	舞台機構	舞台機構	エレベータ	冷却塔	ガラス清掃		エレベータ点検		法定
	11	火	一部閉鎖	舞台機構							小ホール・リハ	
	24	月	全館休館	ピアノ		中央監視			事務所	中央監視制御点検		法定
	25	火	一部閉鎖	ピアノ							小ホール・リハ	
8	7	月	全館休館	館内消毒						館内消毒		法定
	8	火	全館休館	映写機		エレベータ	冷却塔			エレベータ点検		法定
	21	月	全館休館	音響		消防設備	大ホール	~~汚水槽清掃~~	大ホール	消防設備点検		法定
	22	火	一部閉鎖	音響							小ホール・リハ	
9	11	月	全館休館	電気設備年次点検						電気設備点検		法定
	12	火	全館休館	舞台照明		消防設備 エレベータ 自動ドア 非常用発電機	冷却塔	ガラス清掃		エレベータ点検 消防設備点検		法定
	13	水	一部閉鎖	舞台照明							小ホール・リハ	
10	10	火	全館休館	舞台機構	舞台機構	エレベータ	冷却塔	汚水槽清掃	事務所	エレベータ点検		法定
	23	月	一部閉鎖								大ホール・リハ	
	24	火	一部閉鎖								大ホール・リハ	
11	13	月	全館休館 ※							全館改修		
	～									全館改修		
	30	木								全館改修		
12	1	金								全館改修		
	～									全館改修		
	31	日								全館改修		
1	1	月								全館改修		
	～									全館改修		
	31	水								全館改修		
2	1	木								全館改修		
	～									全館改修		
	28	水								全館改修		
3	1	木								全館改修		
	～									全館改修		
	31	土								全館改修		

全館休館　152 日　　一部閉鎖　8 日

年末年始　0 日　　開館日　213

※平成29年11月13日（月）から平成30年3月31日（土）までの改修工事に伴う施設休館中においては、事務所を移転して指定管理者業務を実施。年末年始（12月28日～1月3日）及び各月1日程度の休業日を予定。

（指定管理者が記入する様式）

平成29年度　「横浜市市民文化会館関内ホール」　収支予算書及び報告書

収入の部　（税込、単位：円）

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	123,370,351		123,370,351		123,370,351	横浜市より
利用料金収入	45,550,000		45,550,000		45,550,000	
自主事業収入	14,408,000		14,408,000		14,408,000	学校プログラム558,000含む
雑入	13,051,000	0	13,051,000	0	13,051,000	
自動販売機手数料	1,602,500		1,602,500		1,602,500	
育成センター施設負担金	7,525,000		7,525,000		7,525,000	
附属店舗共益費･電気料	1,400,000		1,400,000		1,400,000	
その他(チケット販売手数料等)	2,523,500		2,523,500		2,523,500	チケット販売手数料、物販手数料、ホームページ及び催物案内広告掲載料等
収入合計	196,379,351	0	196,379,351	0	196,379,351	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	38,080,000	0	38,080,000	0	38,080,000	
給与・賃金	36,322,000		36,322,000		36,322,000	
社会保険料	0		0		0	共同事業体各社にて出向者分を負担
通勤手当	1,758,000		1,758,000		1,758,000	
健康診断費	0		0		0	共同事業体各社にて出向者分を負担
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	共同事業体各社にて出向者分を負担
退職給付引当金繰入額	0		0		0	共同事業体各社にて出向者分を負担
事務費	6,562,770	0	6,562,770	0	6,562,770	
旅費	20,000		20,000		20,000	
消耗品費	665,000		665,000		665,000	
会議賄い費	20,000		20,000		20,000	
印刷製本費(広報費含む)	1,909,500		1,909,500		1,909,500	コピー用紙、コピー機プリント代、プリンター･紙折り機保守契約費、広報費(催物案内制作費、事業の映像アーカイブ費等)
通信費	885,000		885,000		885,000	チケット・チラシ配送費、郵券代含む
使用料及び賃借料	130,200	0	130,200	0	130,200	
横浜市への支払分	130,200		130,200		130,200	目的外使用料(飲料自販機6台分)
その他	0		0		0	
備品購入費	115,000		115,000		115,000	税抜￥30,000以上の備品購入費
図書購入費	6,000		6,000		6,000	
施設賠償責任保険	231,180		231,180		231,180	グループ傷害保険(パート・アルバイト)を含む
職員等研修費	50,000		50,000		50,000	
振込手数料	79,000		79,000		79,000	
リース料	1,449,980		1,449,980		1,449,980	リソグラフ(簡易印刷機)、紙折り機、パソコン、観葉植物のリース費
手数料	198,000		198,000		198,000	チケット代引き手数料他
地域協力費	803,910		803,910		803,910	馬車道商店街協同組合費、住吉町町内会費、全国・県公文協会費等
事業費	18,953,000	0	18,953,000	0	18,953,000	
自主事業費	18,953,000		18,953,000		18,953,000	学校プログラム558,000含む
管理費	128,021,168	0	128,021,168	0	128,021,168	
光熱水費	23,008,864	0	23,008,864		23,008,864	
電気料金	19,293,387		19,293,387		19,293,387	
ガス料金	423,097		423,097		423,097	
水道料金	3,292,380		3,292,380		3,292,380	
清掃費	16,129,686		16,129,686		16,129,686	
修繕費	2,000,000		2,000,000		2,000,000	設備関係修繕費及び消耗品費、舞台関係修繕費及び消耗品費
舞台管理技術委託費	26,475,083		26,475,083		26,475,083	
機械警備費	715,284		715,284		715,284	
設備管理費	36,321,831	0	36,321,831		36,321,831	
空調衛生設備保守	9,956,367		9,956,367		9,956,367	
消防設備保守	3,268,728		3,268,728		3,268,728	
電気設備保守	8,790,867		8,790,867		8,790,867	
害虫駆除清掃保守	556,776		556,776		556,776	
駐車場設備保全費	113,220		113,220		113,220	
その他保全費	13,635,873		13,635,873		13,635,873	
共益費	0		0		0	
休館中管理費	23,370,420	0	23,370,420		23,370,420	
家賃	6,813,270		6,813,270		6,813,270	
休館中光熱水費	227,250		227,250		227,250	
絵画輸送費	585,300		585,300		585,300	
絵画保険費	1,550,340		1,550,340		1,550,340	
ピアノ保管及び廃棄ピアノ処分費	1,297,080		1,297,080		1,297,080	
照明(天井上除く)・舞台備品移設費	2,110,000		2,110,000		2,110,000	
照明(天井上除く)・舞台備品保管関係費	1,242,000		1,242,000		1,242,000	
仮事務所への什器移設	1,481,900		1,481,900		1,481,900	
廃棄作業(事務所以外什器)	1,907,280		1,907,280		1,907,280	
事務所新規什器	0		0		0	
事務所以外新規什器	6,156,000		6,156,000		6,156,000	
廃棄作業(仮事務所什器)	0		0		0	
公租公課	3,062,582	0	3,062,582	0	3,062,582	
事業所税	0		0		0	
消費税	2,978,582		2,978,582		2,978,582	
印紙税	82,000		82,000		82,000	
その他（預金金利の国税・地方税）	2,000		2,000		2,000	
事務経費　（計算根拠を説明欄に記載）	1,692,000	0	1,692,000	0	1,692,000	
本部分	702,000		702,000		702,000	経理事務負担金及び確定申告税理士報酬負担分
当該施設分	990,000		990,000		990,000	新聞購読料、一般廃棄物処理費、機密文書溶解処理費、粗大ごみ処理費等
支出合計	196,371,520	0	196,371,520	0	196,371,520	
差引	7,831	0	7,831	0	7,831	

自主事業費収入				14,408,000		
自主事業費支出				18,953,000		
自主事業収支				4,545,000		